

特許出願動向の調査レポート

第一章 調査の概要

1-1 調査テーマ

グローブライド株式会社の特許出願動向

1-2 調査目的

本テーマでは、特定の出願人から出願された特許公報を分析することにより、当該出願人の保有する技術の年別推移、共同出願人との関係、保有技術の特徴などを分析している。

この分析では、機械学習で使用されているpythonを利用し、コード化、集計、図表作成、コメント作成、レポート作成を全て自動化し、時間短縮をはかっている。

1-3 調査対象

対象公報：公開特許公報

対象期間：2011年1月1日～2021年12月31日の発行

対象出願人：グローブライド株式会社

1-4 調査手法

以下の手順により、対象公報の抽出、コード化、グラフ化、分析を行なっている。

なお、コード化、グラフ化、分析コメントの作成、本レポートの作成については、すべてPythonにより自動作成している。

1-4-1 対象公報の抽出

特定の出願人を指定して検索し、公報データをダウンロードする。

1-4-2 コード付与

Pythonを利用して独自に作成したコード化プログラムによりコード化する。

コード化の基本的な処理では、出現頻度が高いIPCを抽出し、抽出したIPCに関連が深いIPCをまとめてコードを付与している。

1-4-3 グラフ化および分析

分析用公報データの書誌情報と、各公報に付与した分類コードとから以下の各種集計表とグラフを作成し、本テーマの出願動向を分析している。

※ 上記書誌情報の内容は、「公報番号、出願番号、発行日、発明等の名称、出願人・権利者、発明者、IPC、FI、Fターム、要約」である。

① 全体の出願状況

- ・ 公報発行件数の年別推移(縦棒グラフ)

② 出願人ベースの分析

- ・ 出願人別発行件数の割合(集計表、円グラフ)
- ・ 共同出願人数の年別推移(縦棒グラフ)
- ・ 出願人別発行件数の年別推移(折線グラフ、バブルチャート)

③ メイングループの分析(縦棒グラフ、バブルチャート)

- ・ メイングループ別発行件数の分布(縦棒グラフ)
- ・ メイングループ別発行件数の年別推移(バブルチャート)

④ 最新発行のサンプル公報の概要(書誌リスト、概要)

⑤ 新規メイングループを含むサンプル公報(書誌リスト、概要)

⑥ 分類コードベースの分析

- ・ 分類コード別の発行件数割合(集計表、円グラフ)
- ・ 分類コード別発行件数の年別推移(折線グラフ、バブルチャート)

⑦ コード別の詳細分析

- ・ 一桁コード別発行件数の年別推移(縦棒グラフ)
- ・ 一桁コード別出願人別の発行件数割合(集計表、円グラフ)
- ・ 一桁コード別共同出願人数の年別推移(縦棒グラフ)
- ・ 一桁コード別共同出願人別発行件数の年別推移(バブルチャート)
- ・ 一桁コード毎の下位コード別の発行件数割合(集計表、円グラフ)
- ・ 一桁コード毎の下位コード別の発行件数割合(集計表、円グラフ)
- ・ 一桁コード毎の下位コード別発行件数の年別推移(バブルチャート)

- ・(該当公報が有れば)サンプル公報の概要(書誌リスト)

1-5 バソコン環境

- ・使用パソコンのOS macOS Catalina
- ・使用Python Python 3.8.3
- ・Python実行環境 Jupyter Notebook

1-6 ツールソフト(処理内容)

- ・特定出願人動向調査.ipynb(コーディング、集計、図表作成、コメント作成、レポート作成)

第二章 全体分析

2-1 発行件数の年別推移

2011年～2021年の間に発行されたグローブライド株式会社に関する分析対象公報の合計件数は1109件であった。

図1はこの分析対象公報を発行年別に集計し、縦棒グラフにしたものである。

※ 最終調査年が12ヶ月未満の場合には、実際の発行件数を青色、その後の発行予想件数を橙色で示している(以下、同じ)。



図1

このグラフによれば、グローブライド株式会社に関する公報件数は 全期間では増減しながらも減少傾向を示している。

開始年の2011年がピークであり、2016年のボトムにかけて減少し続け、最終年の2021年にかけては増減しながらも増加している。また、横這いが続く期間が多かった。

最終年近傍は横這い傾向である。

※ 上記「最終年近傍」は最終年を含む3年としている。

※ 出願時期は、一般的には発行日の1年6ヶ月以前である。

2-2 出願人別発行件数の割合

表1は本テーマの分析対象公報を公報発行件数が多い上位10社とその他の出願人について集計した集計表である。

※ 件数は持ち分として共同出願人数で按分している。

出願人	発行件数	%
グロープライド株式会社	1099.2	99.12
日泉化学株式会社	4.5	0.41
株式会社アイリス	0.5	0.05
ダイヤホールディングス株式会社	0.5	0.05
国立大学法人横浜国立大学	0.5	0.05
株式会社栗本鐵工所	0.5	0.05
植田漁具株式会社	0.5	0.05
株式会社貝印刃物開発センター	0.5	0.05
西武建設株式会社	0.5	0.05
オリエンタル酵母工業株式会社	0.5	0.05
アルプスアルパイン株式会社	0.3	0.03
その他	1.0	0.09
合計	1109.0	100.0

表1

この集計表によれば、共同出願人の第1位は日泉化学株式会社であり、0.41%であった。

以下、アイリス、ダイヤホールディングス、横浜国立大学、栗本鐵工所、植田漁具、貝印刃物開発センター、西武建設、オリエンタル酵母工業、アルプスアルパイン 以下、アイリス、ダイヤホールディングス、横浜国立大学、栗本鐵工所、植田漁具、貝印

刃物開発センター、西武建設、オリエンタル酵母工業、アルプスアルパインと続いている。

図2は共同出願人のみを円グラフにしたものである。

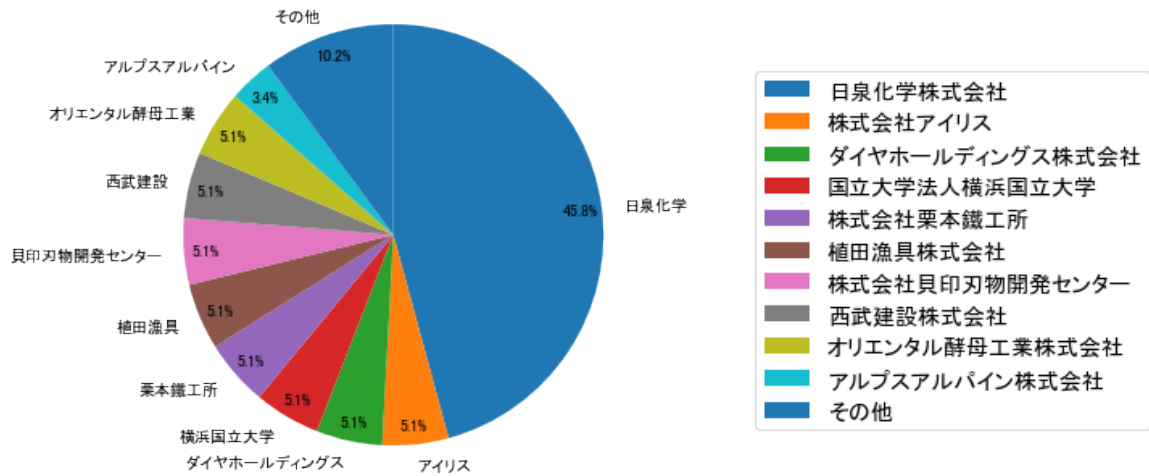


図2

このグラフによれば、上位1社だけで45.8%を占めており、特定の共同出願人に集中している。

2-3 共同出願人数の年別推移

図3は本テーマの分析対象公報の出願人数を発行年別に集計し、縦棒グラフにしたものである。

※ 同じ年の出願人の重複は除去して集計している。

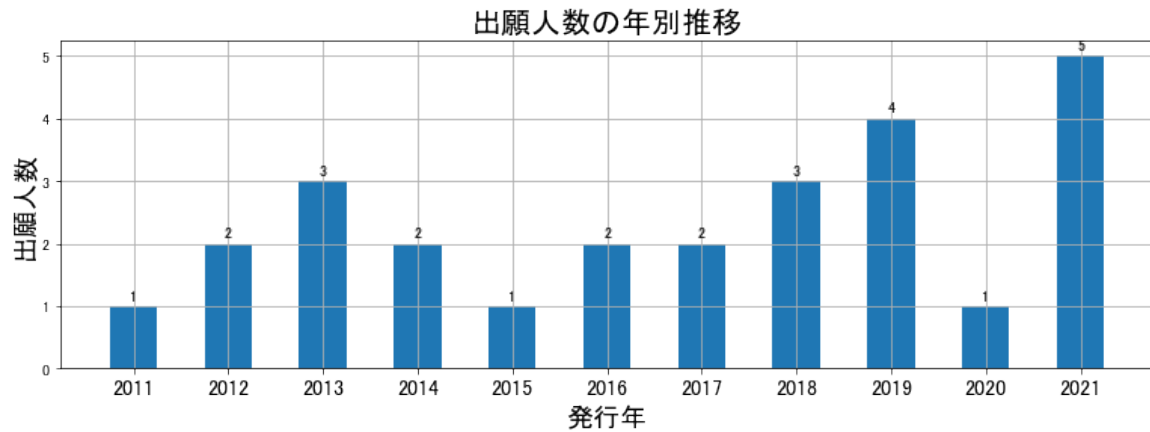


図3

このグラフによれば、出願人数は 全期間では増減しながらも増加傾向を示している。

全期間で出願人数は少ないが、増減している。

出願人数は少ないが、最終年近傍では増減(減少し増加)していた。

2-4 出願人別発行件数の年別推移

図4は共同出願人の発行件数が年毎にどのように推移しているかを見るためのものであり、公報発行件数が多い上位10社について公報発行件数を発行年別に集計し、折線グラフにしたものである。

※ 件数は持ち分として出願人数で按分している。(以下、この注釈は省略する)

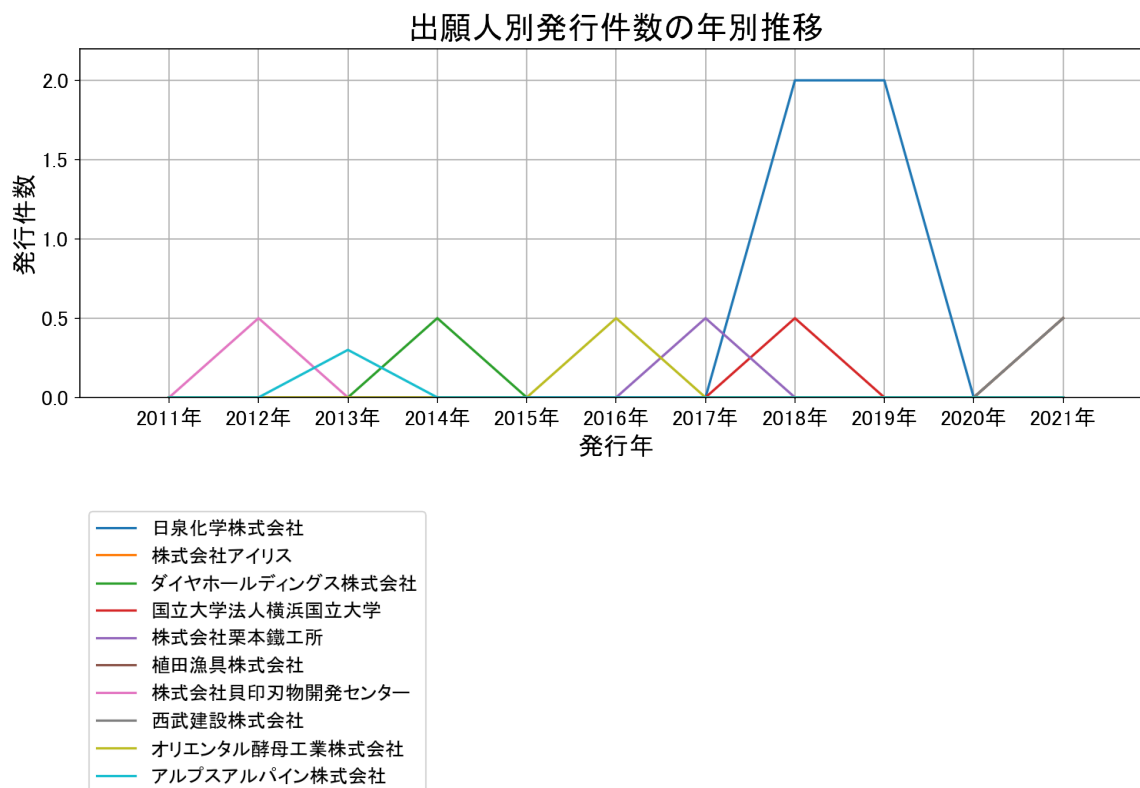


図4

このグラフによれば上記出願人名義の公報発行件数は、全体的には増減しながらも増加傾向を示している。2017年から急増し、2018年にピークを付けた後は減少し、最終年も急増している。

この中で最終年の件数が第1位の出願人は「日泉化学株式会社」であるが、最終年は急増している。

また、次の出願人は最終年に増加傾向を示している。

株式会社アイリス

植田漁具株式会社
西武建設株式会社

図5はこの集計結果を数値付きバブルチャートにしたものである。

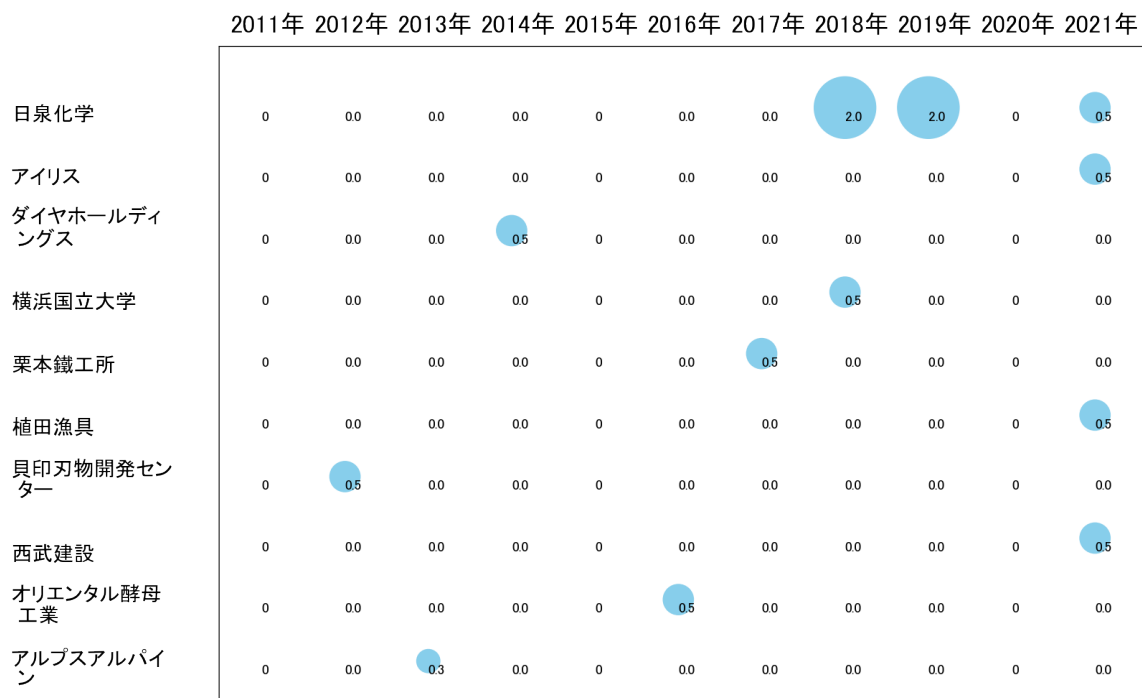


図5

このチャートによれば、以下の出願人は最終年が最多となっている。

株式会社アイリス
植田漁具株式会社
西武建設株式会社

下記条件を満たす重要出願人は無かった。

※最終年の件数が平均以上でかつピーク時の80%以上でかつ増加率が100%以上か、または最終年の件数が平均以上でかつピーク時の95%以上。以下、この条件を「所定条件」という。

2-5 メイングループ別発行件数の分布

図6はIPCのメイングループ分類別に発行公報を集計し、上位20位までを縦棒グラフにしたものである。

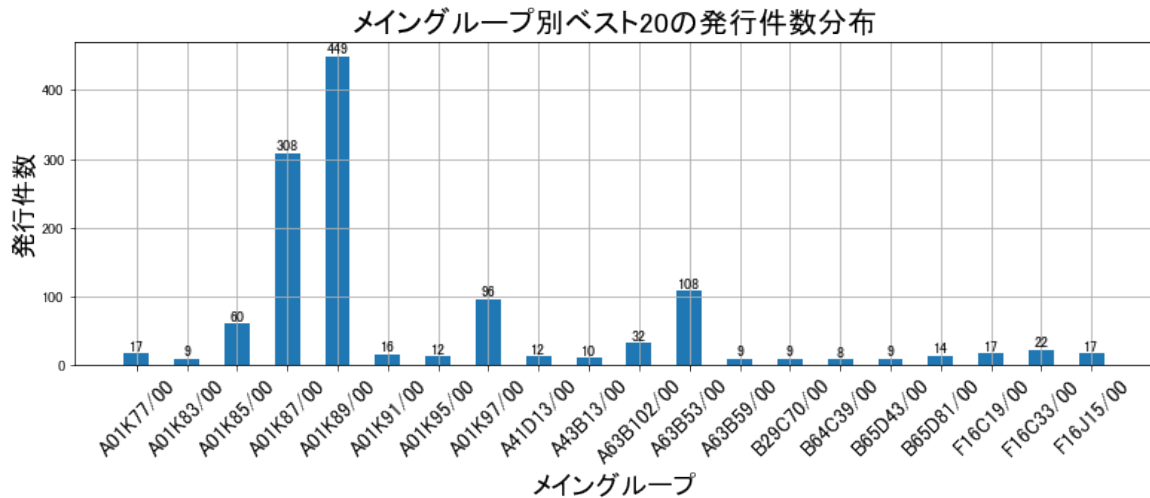


図6

これらのメイングループの内容は以下のとおり。

A01K77/00:漁撈用の陸揚網；漁撈用の陸揚げすくい具(17件)

A01K83/00:釣針(9件)

A01K85/00:漁撈用の疑似餌(60件)

A01K87/00:釣竿(308件)

A01K89/00:漁撈用のリール(449件)

A01K91/00:釣糸(16件)

A01K95/00:釣用のおもり (12件)

A01K97/00:釣り用付属具 (96件)

A41D13/00:職業用；工業用またはスポーツ用の保護衣類，例．衝撃または打撃に対する保護を有する衣服，外科医用の衣服 (12件)

A43B13/00:底；底とかかと底とが結合されたもの(10件)

A63B102/00:クラブ，バット，ラケットまたは類似物のスポーツ活動への適用(32件)

A63B53/00:ゴルフクラブ(108件)

A63B59/00:他のゲームのためのバット，ラケット等 (9件)

B29C70/00:複合材料, すなわち補強材, 充填材, あるいは予備成形部品からなるプラスチック材料, 例, 挿入物の成形 (9件)

B64C39/00:他に分類されない航空機(8件)

B65D43/00:剛性もしくは準剛性容器用の蓋またはカバー (9件)

B65D81/00:特別な輸送もしくは貯蔵問題のある内容物に用いられるかまたは内容物の取出後に包装目的以外に使用されるようにされた容器, 包装要素または包装体(14件)

F16C19/00:専ら回転運動のためのころがり軸受 (17件)

F16C33/00:軸受部品; 軸受または軸受部品の特別な製造方法 (22件)

F16J15/00:密封装置 (17件)

この中で比較的多かったのは、次のメイングループである(以下、コアメインGと表記する)。

A01K87/00:釣竿(308件)

A01K89/00:漁撈用のリール(449件)

A01K97/00:釣り用付属具 (96件)

A63B53/00:ゴルフクラブ(108件)

2-6 メイングループ別発行件数の年別推移

図7はIPCのメイングループ分類別の発行件数を年別に集計し、上位20位までを数値付きバブルチャートにしたものである。

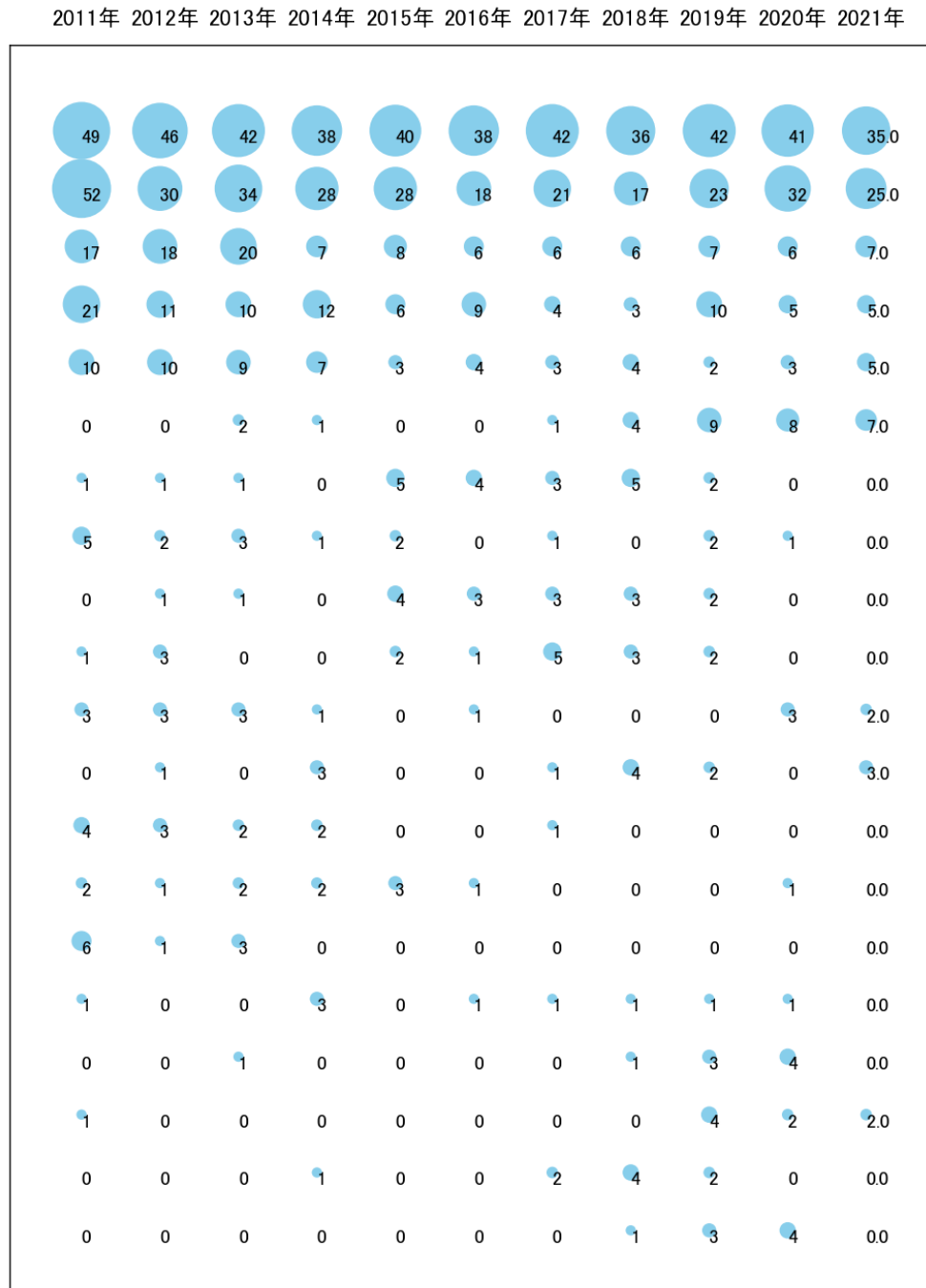


図7

このチャートによれば、最終年が最多のメイングループはなかった。

所定条件を満たす重要メインGはなかった。

2-7 最新発行のサンプル公報

表2は最近発行された公報の書誌事項をまとめた公報書誌リストである。

公報番号	発行日	発明の名称	出願人
特開2021-158958	2021/10/11	魚釣用スピニングリール	グローブライド株式会社
特開2021-023151	2021/2/22	釣竿、リールシート装着構造及びその成型方法	グローブライド株式会社
特開2021-093936	2021/6/24	魚釣用リールのハンドル及び魚釣用リール	グローブライド株式会社
特開2021-185837	2021/12/13	魚釣用電動リール	グローブライド株式会社
特開2021-171009	2021/11/1	釣竿用リールシート及び釣竿	グローブライド株式会社
特開2021-070232	2021/5/6	繊維強化プリプレグ及びその製造方法	グローブライド株式会社
特開2021-102464	2021/7/15	保冷箱	グローブライド株式会社;日泉化学株
特開2021-073955	2021/5/20	魚釣用リール	グローブライド株式会社
特開2021-029227	2021/3/1	撒餌の分布を出力可能な撒餌収容装置	グローブライド株式会社
特開2021-133598	2021/9/13	管状体	グローブライド株式会社

表2

これらのサンプル公報の概要は以下のとおり。

特開2021-158958 魚釣用スピニングリール

製品の寸法のバラツキによる不具合を解消して安定したロータの制動を得ることができ、加えて不用意にロータが回転することを確実に防止するスピニングリールの提供。

特開2021-023151 釣竿、リールシート装着構造及びその成型方法

筒状部材とリールシートの中心軸のずれを低減すると共に、魚釣りの動作におけるあたりの感知性能を高めることが可能な釣竿等を提供することである。

特開2021-093936 魚釣用リールのハンドル及び魚釣用リール

ハンドルノブの軽量化が図れると共にハンドル回転時の操作性が良好な魚釣用リールのハンドルを提供する。

特開2021-185837 魚釣用電動リール

操作部材の位置とモータ出力を精度良く一致させ、製造効率の良い魚釣用電動リール

を提供する。

特開2021-171009 釣竿用リールシート及び釣竿

リール脚を固定するための構造を簡易かつ軽量なものとしつつ、リール脚を確実に固定するリールシートの提供。

特開2021-070232 繊維強化プリプレグ及びその製造方法

繊維強化プリプレグにCNF（セルロースナノファイバー）を添加する際に、CNFの凝集等により分散性が低下することないCNF添加繊維強化プリプレグを提供する。

特開2021-102464 保冷箱

断熱材充填空間に水が入り難い保冷箱を提供する。

特開2021-073955 魚釣用リール

クラッチ機構を駆使した最適な魚釣り操作が実現可能な魚釣用リールを提供する。

特開2021-029227 撒餌の分布を出力可能な撒餌収容装置

撒餌収容装置から外部に放出された撒餌の分布を検出し送信することができる撒餌収容装置及び当該分布含めた情報の処理・出力を行うことができる撒餌分布処理システムを提供する。

特開2021-133598 管状体

より薄い層で高級感があり色調変化が容易な金属調外観を得ると共に、基材との密着性や耐久性が向上した管状体及びその製造方法を提供する。

これらのサンプル公報には、魚釣用スピニングリール、リールシート装着構造、成型、魚釣用リールのハンドル、魚釣用電動リール、釣竿用リールシート、繊維強化プリプレグ、製造、保冷箱、撒餌の分布、出力可能、撒餌収容、管状体などの語句が含まれていた。

2-8 新規メインG別発行件数の年別推移

以下は調査開始年の翌年以降に新たに発生した新規メイングループ(以下、新規メインGと表記する)である。

※ここでは調査開始年が0件でかつ最終年が3件以上を新規メインGとみなしている。

A63B102/00:クラブ、バット、ラケットまたは類似物のスポーツ活動への適用

B65D81/00:特別な輸送もしくは貯蔵問題のある内容物に用いられるかまたは内容物の取出後に包装目的以外に使用されるようにされた容器、包装要素または包装体

B66C1/00:クレーンの持ち上げ、下げ、または牽引装置に取り付けられているかまたはこれと連結されていて物品または物品のグループに持ち上げ力を伝える荷物の係合要素または装置

図8は新規メインG別発行件数の年別推移を示す折線グラフである。

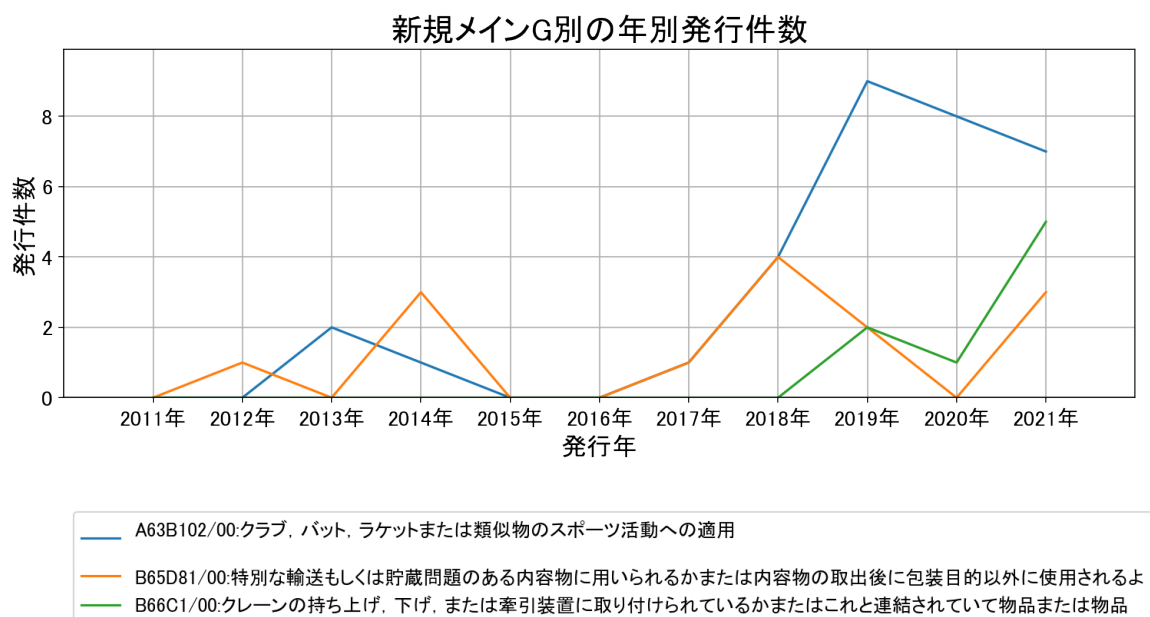


図8

このグラフによれば上記新規メインGの公報発行件数は、全体的には増減しながらも増加傾向を示している。2017年から増加し、最終年も急増している。

この新規メイングループに関連が深いコアメインGは以下のとおり。

A63B53/00:ゴルフクラブ(108件)

2-9 新規メイングループを含むサンプル公報

上記新規メインGを含む公報は54件であった。

この新規メインGを含む公報からサンプル公報を抽出し、以下にそのサンプル公報の概要を示す。

特開2013-192667(ゴルフクラブ、及びゴルフクラブヘッド) コード:B01A01

・クラウン部が薄肉厚化されているヘッドを装着したゴルフクラブにおいて、ライ角、ロフト角、フェース角の調整作業を行い易いゴルフクラブを提供する。

特開2014-126320(保冷用落とし蓋および保冷箱) コード:Z01

・内部空間(13)を外気温とは異なる温度に保つための保冷箱に対して、多種類のサイズにも合理的に適合できる保冷用落とし蓋を提供する。

特開2017-176703(ゴルフ用パター) コード:B01A

・フェース面に付された打球の方向性の指針となるマーキングをプレーヤに見易くしたゴルフ用パターを提供する。

特開2018-039564(保冷箱) コード:Z01

・開閉操作時に蓋部材を手指で把持し易く、蓋部材の開閉操作性に優れた保冷箱を提供する。

特開2018-064607(ゴルフクラブヘッドの製造方法) コード:B01A

・複数の外殻体を接合して製造されるヘッド本体において、ロウ付けによる熱処理工程があっても、素材の特性を損なうことのないゴルフクラブヘッドの製造方法を提供する。

特開2019-018929(荷下用フック) コード:Z99

・様々な個所に荷重体を搬送して荷下げるような使用態様であっても、荷重体がフック部分から外れることがない荷下用フックを提供する。

特開2019-099317(荷下用フック) コード:Z99

・ベース部材に対して開位置と閉位置との間で移動可能に支持される可動部材が牽引部材の巻き上げ／引き出し動作と連動するフック構成において、牽引部材による牽引力の作用に伴う部品の損傷を防止できる荷下用フックを提供する。

特開2019-115517(ゴルフクラブヘッド) コード:B01A01

・打球時の反発性を向上させることができるとともに、重量増加を極力回避しつつ打球時の座屈も防止でき、ひいては、特にインパクトの前後にわたって空気流の乱流も抑制できる（空気抵抗を低減できる）ゴルフクラブヘッドを提供する。

特開2019-176955(ブレード) コード:B01

・使用時に特に負荷が掛かりやすいブレードの側部における補強部材の繊維方向を場所によらず同一若しくは略同一のものとすることで、該補強部材による補強を均一化ならしめ、これにより耐久性を向上させる事が可能なブレードの提供。

特開2019-216907(ゴルフクラブヘッド及び当該ゴルフクラブヘッドを備えるゴルフクラブ) コード:B01A02

・ソールの接地位置を安定化すると共に、重心位置を低くし、かつヘッド回転が生じにくくし、その結果、アドレスが定まり易く、打球時の方向性や打球位置を安定化させることが可能なゴルフクラブヘッド及び当該ゴルフクラブヘッドを備えるゴルフクラブを提供する。

特開2020-005801(シャフト) コード:B01

・矩形断面を有するシャフトをしっかりと把持する際に、より接触しやすい領域の滑り抵抗を向上させつつ、シャフトから離れることなく把持位置を当該シャフトの長手方向で変更する際に当該位置を迅速かつ容易に変更可能なシャフトを提供する。

特開2020-156712(ゴルフクラブヘッド) コード:B01A01

- ・特に、フェアウェイウッドやユーティリティクラブに用いられるゴルフクラブヘッドにおいて、打球時にフェース部を撓み易くするとともに、方向性や打球の高さの安定化が図れるゴルフクラブヘッドを提供する。

特開2020-200144(係止装置) コード:Z99

- ・係止装置の小型化を可能ならしめるだけでなく、当該係止装置の運搬物への係止が操作者の技量に極力依存しなくても済むようにして運搬物の係止容易さを向上させることにある。

特開2021-050064(荷下ろし装置及びこれを備える搬送装置) コード:Z99

- ・1回の移動で複数の目的地に所望の運搬物を搬送し、また各運搬物の荷下ろしを簡易かつ確実に行うことができる荷下ろし装置及びこれを備えた搬送装置を提供する。

特開2021-095239(係止装置及びその鉤受け部材) コード:Z99

- ・係止装置の小型化を可能ならしめるだけでなく、当該係止装置の運搬物への係止が操作者の技量に極力依存しなくても済むようにして運搬物の係止容易さを向上させる。

特開2021-102464(保冷箱) コード:Z01

- ・断熱材充填空間に水が入り難い保冷箱を提供する。

特開2021-133598(管状体) コード:A01C;B01

- ・より薄い層で高級感があり色調変化が容易な金属調外観を得ると共に、基材との密着性や耐久性が向上した管状体及びその製造方法を提供する。

特開2021-195148(保冷バッグ) コード:Z01

- ・各面の断熱部の成形をより簡易かつ低コストで行うことができるだけでなく、各面の断熱部間からの冷気の流出を確実に低減することで、保冷効果を向上させる。

2-10 新規メインGと重要コアメインGとの相関

図9は新規メインGと重要コアメインGとの相関を見るためのものであり、新規メインGと重要コアメインGを共に含む公報件数を集計し、X軸を重要コアメインG、Y軸を新規メインGとして数値付きバブルチャートとしてまとめたものである。

※ Y軸が多過ぎる場合は合計公報件数が2件以上の新規メインGに絞り込んでいる。

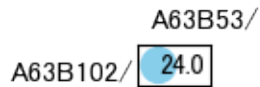


図9

このチャートから新規メインGと重要コアメインGの相関が高い(2件以上の)組み合わせをまとめると以下のようなになる。

[A63B102/00:クラブ, バット, ラケットまたは類似物のスポーツ活動への適用]

・ A63B53/00:ゴルフクラブ

第三章 分類コード別の分析

この調査では、上記分析対象公報についてPythonによりコード化し、そのコードの一桁目をサブテーマのコードとした。

A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業

B:スポーツ；ゲーム；娯楽

C:機械要素

Z:その他

3-1 分類コード別全体分析

分析対象公報を、サブテーマコード毎に分類し、分析した結果は以下のようになった。

3-1-1 一桁コード別の発行件数割合

表3は分析対象公報の分類コードを一桁別(サブテーマ別)で集計した集計表である。

コード	コード内容	合計	%
A	農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業	911	79.6
B	スポーツ；ゲーム；娯楽	119	10.4
C	機械要素	35	3.1
Z	その他	80	7.0

表3

この集計表によれば、コード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が最も多く、79.6%を占めている。

以下、B:スポーツ；ゲーム；娯楽、Z:その他、C:機械要素と続いている。

図10は上記集計結果を円グラフにしたものである。

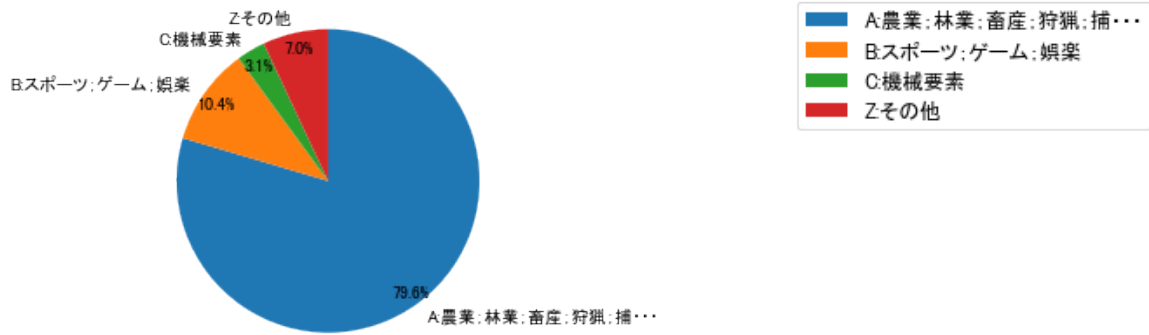


図10

3-1-2 一桁コード別発行件数の年別推移

図11は分析対象公報を一桁コード別・年別に集計し、折線グラフにしたものである。

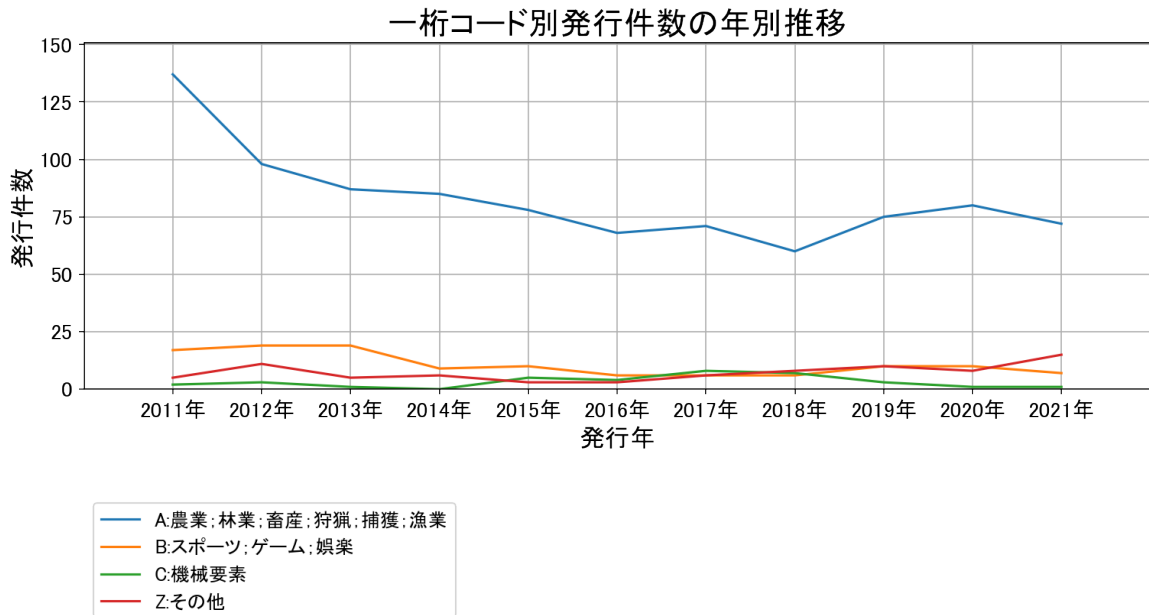


図11

このグラフによれば上記出願人名義の公報発行件数は、全体的には増減しながらも減少傾向を示している。最終年は横這いとなっている。この中で最終年の件数が第1位の出願人は「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」であるが、最終年は減少している。

また、次のコードは最終年に増加傾向を示している。

Z:その他

図12は一桁コード別の発行件数を年別に集計し、数値付きバブルチャートにしたものである。

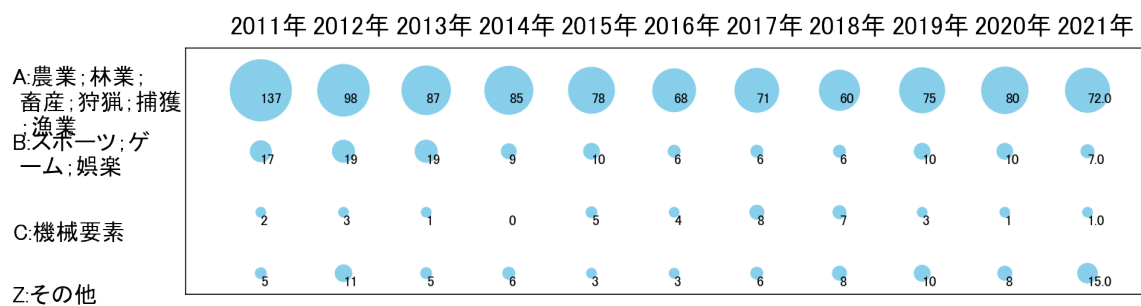


図12

このチャートによれば、最終年が最多となっているコードは次のとおり。

Z:その他(80件)

所定条件を満たす重要コードはなかった。

3-2 分類コード別個別分析

分析対象公報を分析対象公報を一桁コード別(A～Z)に分け、それぞれのコードを分析した結果は以下ようになった。

3-2-1 [A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業]

(1) コード別発行件数の年別推移

分析対象公報のうちコード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が付与された公報は911件であった。

図13はこのコード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が付与された公報を発行年別に集計し、縦棒グラフにしたものである。

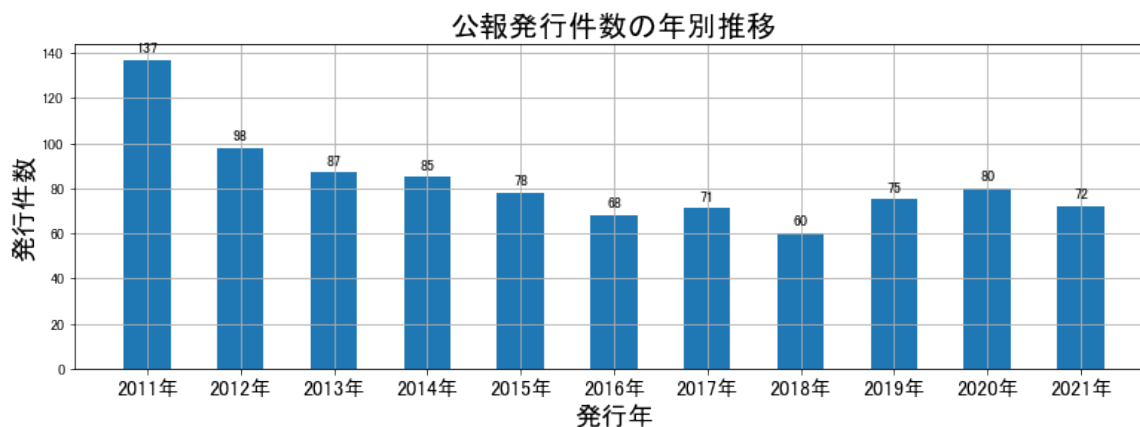


図13

このグラフによれば、コード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が付与された公報の発行件数は 全期間では増減しながらも減少傾向を示している。

開始年の2011年がピークであり、2018年のボトムにかけて増減しながらも減少し、最終年の2021年にかけては増減しながらも増加している。また、横這いが続く期間が多かった。

最終年近傍は横這い傾向である。

(2) コード別出願人別の発行件数割合

表4はコード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が付与された公報を公報発行件数が多い上位11社までとその他の出願人について集計した集計表である。

出願人	発行件数	%
グローブライド株式会社	905.7	99.43
日泉化学株式会社	2.0	0.22
株式会社アイリス	0.5	0.05
国立大学法人横浜国立大学	0.5	0.05
植田漁具株式会社	0.5	0.05
オリエンタル酵母工業株式会社	0.5	0.05
アルプスアルパイン株式会社	0.3	0.03
カスタマシステム株式会社	0.3	0.03
太平洋工業株式会社	0.3	0.03
株式会社創成電子	0.3	0.03
その他	0.1	0
合計	911	100

表4

この集計表によれば、共同出願で最も発行件数が多かった出願人(筆頭共同出願人)は日泉化学株式会社であり、0.22%であった。

以下、アイリス、横浜国立大学、植田漁具、オリエンタル酵母工業、アルプスアルパイン、カスタマシステム、太平洋工業、創成電子と続いている。

図14は上記集計結果のうち共同出願人のみを円グラフにしたものである。

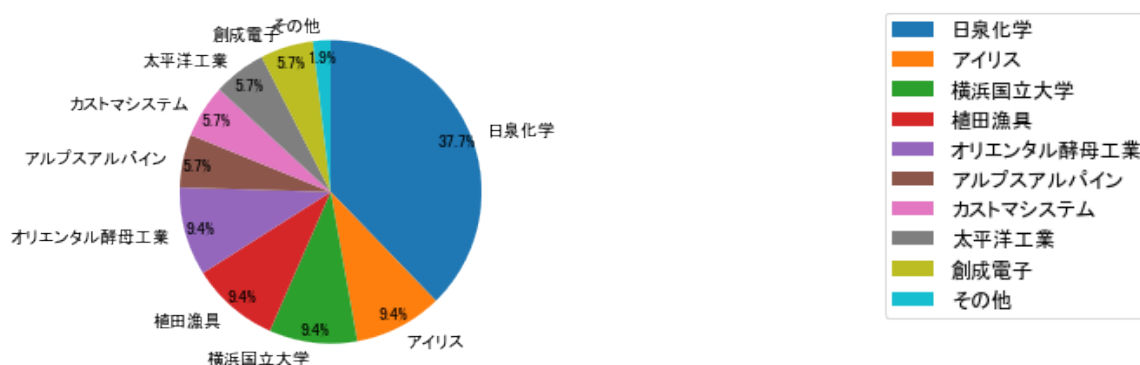


図14

このグラフによれば、筆頭共同出願人だけで37.7%を占めている。

(3) コード別出願人数の年別推移

図15はコード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が付与された公報の出願人数を発行年別に集計し、縦棒グラフにしたものである。

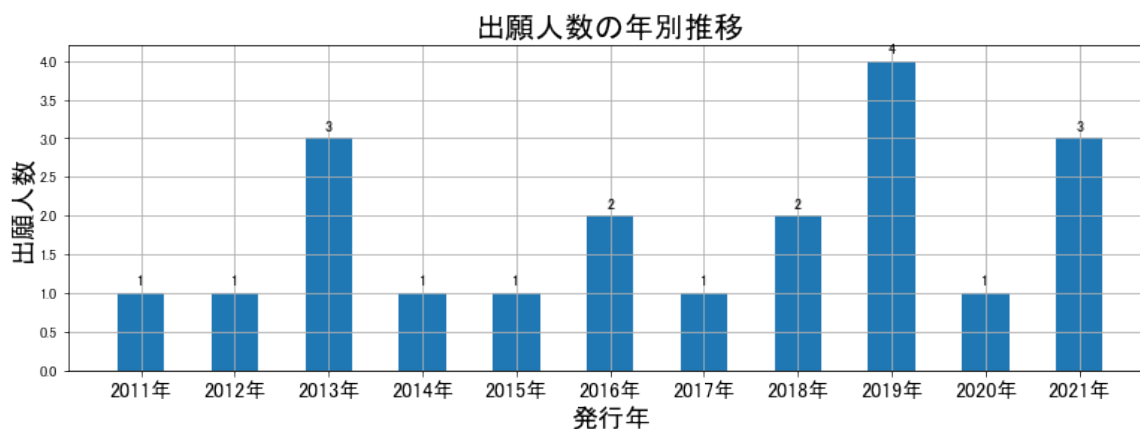


図15

このグラフによれば、コード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が付与された公報の出願人数は 全期間では増減しながらも増加傾向を示している。

全期間で出願人数は少ないが、増減している。

出願人数は少ないが、最終年近傍では増減(減少し増加)していた。

(4) コード別出願人別発行件数の年別推移

図16はコード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が付与された公報について共同出願人の発行件数が年毎にどのように推移しているかを見るためのものであり、公報発行件数が多い共同出願人の上位10社について公報発行件数を発行年別に集計し、数値付きバブルチャートにしたものである。

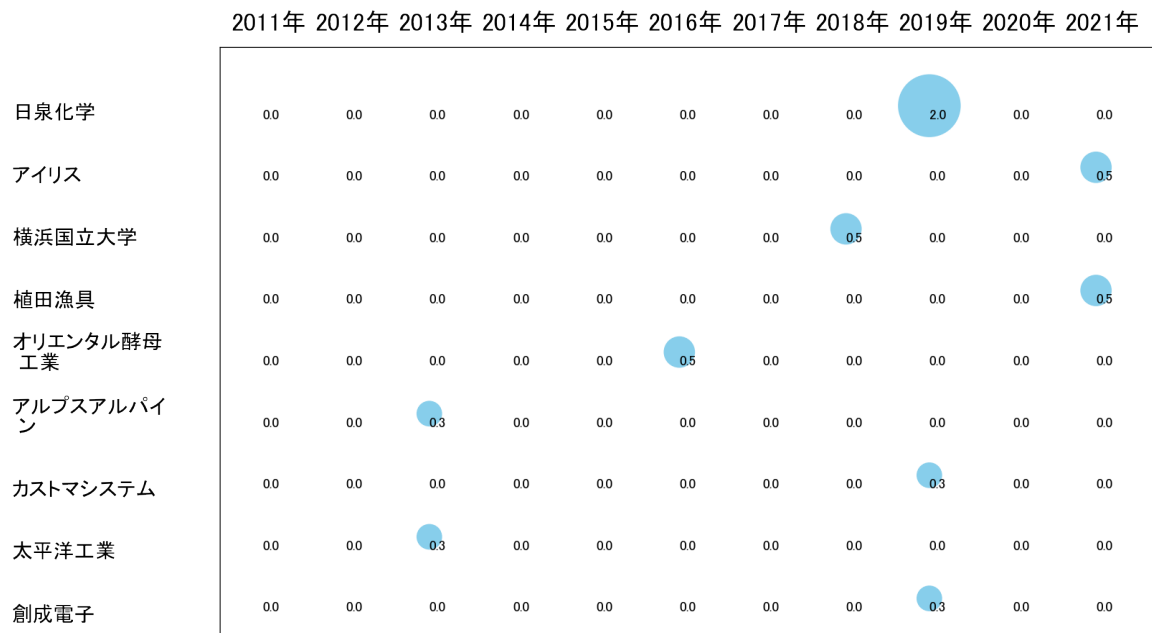


図16

このチャートによれば、以下の出願人は最終年が最多となっている。

アイリス
植田漁具

所定条件を満たす重要出願人はなかった。

(5) コード別の発行件数割合

表5はコード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が付与された公報のコードを四桁別で集計した集計表である。

コード	コード内容	合計	%
A	農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業	0	0.0
A01	畜産；鳥、魚、昆虫の飼育；漁業；他に分類されない動物の飼育 または繁殖；新規な動物	237	17.2
A01A	ピックアップ	515	37.3
A01B	回転ドラム	266	19.3
A01C	釣竿	170	12.3
A01D	竿上の釣糸案内	108	7.8
A01E	原動機で駆動されるもの	84	6.1
	合計	1380	100.0

表5

この集計表によれば、コード「A01A:ピックアップ」が最も多く、37.3%を占めている。

図17は上記集計結果を円グラフにしたものである。

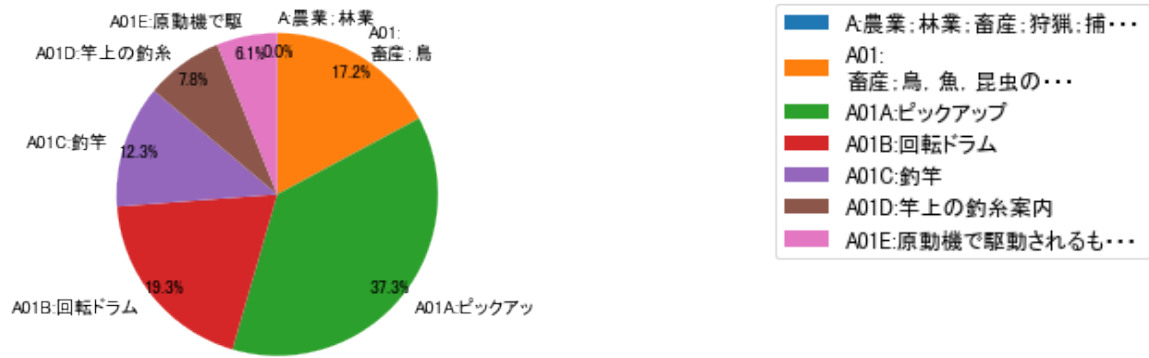


図17

(6) コード別発行件数の年別推移

図18は上記六桁コード別の発行件数を年別に集計し、上位20までを数値付きバブルチャートにしたものである。

2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年

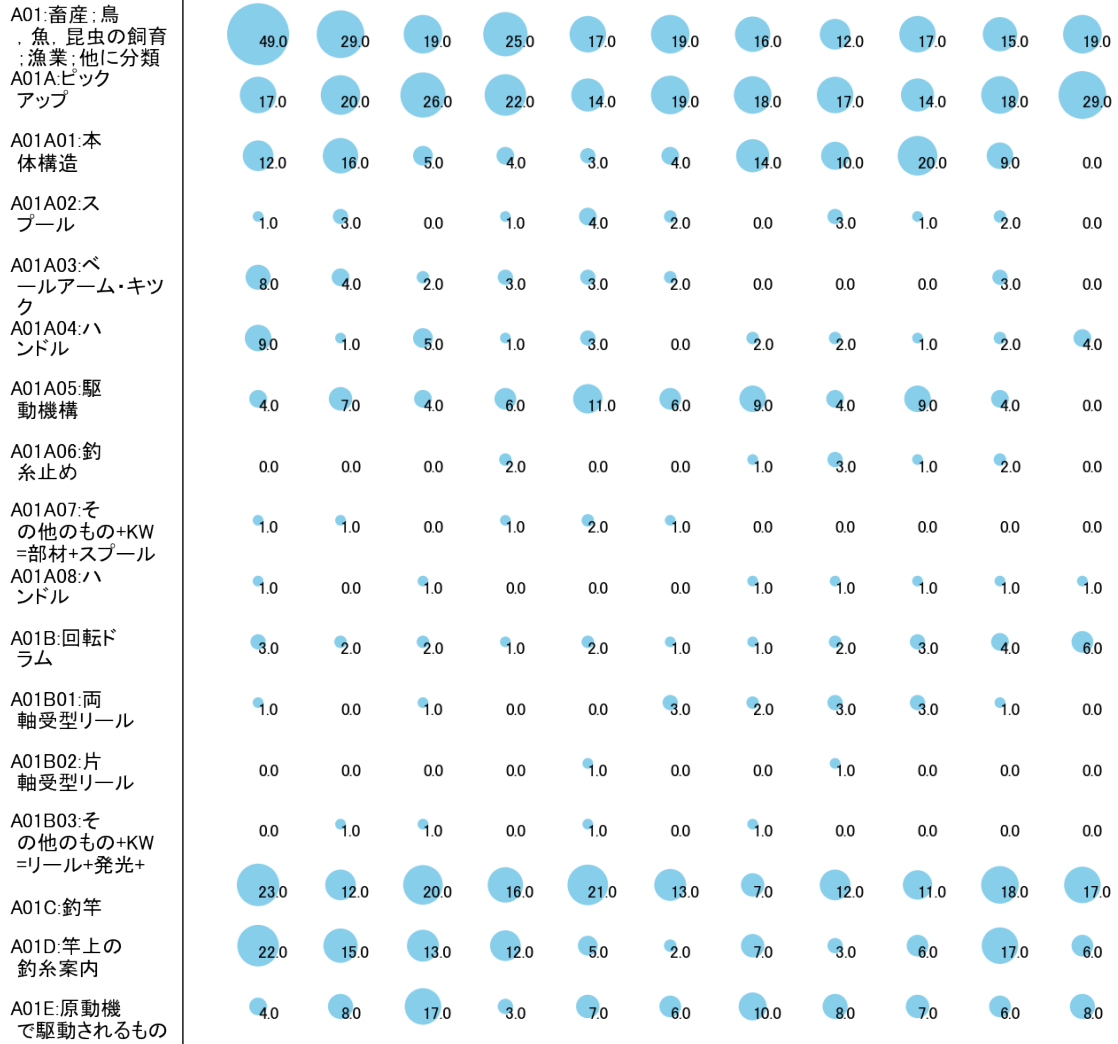


図18

このチャートによれば、最終年が最多となっているコードは次のとおり。

A01A:ピックアップ

A01B:回転ドラム

所定条件を満たす重要コードは次のとおり。

A01A:ピックアップ

A01B:回転ドラム

上記重要コードのサンプル公報によれば、次のような技術が出願されていた。

[A01A:ピックアップ]

特開2011-024527 魚釣用リール

握持保持する際に装着部が手に接触することが回避でき、手に違和感を与えるのを防止するとともに、魚のヌメリ、海水、ゴミ等が装着部に付着し難い魚釣用リールを提供すること。

特開2013-005738 魚釣用電動リール

制御ケースに回転式のモータ出力調整部材を設けた魚釣用電動リールにおいて、リール本体の把持性、及び操作性の向上が図れる魚釣用電動リールを提供する。

特開2014-187955 魚釣用リール

リールを大型化させることなく、釣糸案内体が回動できない固定状態に陥ってしまっている場合にクラッチをON状態からOFF状態へ操作しようとしてもクラッチ機構と釣糸案内体の回動機構とを連動させる連結部の外れを防止できる魚釣用リールを提供する。

特開2014-087322 魚釣用リール

従来の魚釣用リールにおけるドラッグ機構の防水機構は、十分な防水性を有してもシール部材とその装着部位との幅を狭めることができず、小型化に好適しない構成である。

特開2015-208311 魚釣用電動リール、及び魚釣用電動リールの駆動モータの出力を調整する操作部材

駆動モータの出力調整の操作性が良好な操作部材を有する魚釣用電動リールを提供する。

特開2015-065849 魚釣用リール

多様な外観、軽量化、および、成形性の向上を実現できる低コストな操作性が良いスプール制動力調整ノブを備える魚釣用リールを提供する。

特開2018-068233 両軸受型リール

サイドプレートによってフレームを開放するための開閉機構の開放可能状態を視覚的に明確に判別できるとともに、開閉機構が釣糸の絡みを引き起こさない両軸受型リール

を提供する。

特開2020-010663 両軸受型リール及び両軸受型リール用のスプール

細いラインで軽い疑似餌を狙った位置に正確かつ容易にキャストを行うことを可能にする両軸受型リールを提供する。

特開2020-099264 魚釣用電動リール

切替部材の反発部材への衝撃を好適に緩和し、長期的に安定した動力伝達状態の切替えを行う。

特開2021-122181 魚釣用リール

逆転防止装置の耐力値（逆転防止力）の調整が可能であり、小型、軽量化を図ることができる魚釣用リールを提供する。

これらのサンプル公報には、魚釣用リール、魚釣用電動リール、魚釣用電動リールの駆動モータの出力、調整、操作部材、両軸受型リール、両軸受型リール用のスプールなどの語句が含まれていた。

[A01B:回転ドラム]

特開2011-206013 魚釣用リール

様々なキャスト条件（投入方法、使用ルアー、風向きなど）に対応すべく、キャスト初期から後期までの制動力を調整可能で、飛距離や操作性（バックラッシュ防止）の向上を図ることができるとともに、スペース的にも問題がなく、制動力の設計自由度を高めた魚釣用リールを提供すること。

特開2013-013370 魚釣用電動リール

スピールのサミング操作を行いつつ、クラッチ操作や駆動モータの巻き取り操作が容易に行える魚釣用電動リールを提供する。【解決手段】本発明に係る魚釣用電動リールは、釣糸が巻回されるスプール7と、リール本体5に設けられ、スピールを回転駆動する駆動モータ8と、駆動モータ8の出力を調整する操作部材30と、スプール7を、釣糸巻き取り状態からフリー回転状態に切り換え操作するクラッチOFF切替部材18と、スプール7を、フリー回転状態から釣糸巻き取り状態に切り換え操作するクラッチON切替部材19とを有する。

特開2017-079701 魚釣用両軸受型リール

ホールド性を損なうことなくキャストコントロール機構の誤操作を防止し、内部に異物等が侵入し難くする操作部材を備えたガード部材を有する魚釣用両軸受型リールを提供する。

特開2018-082653 魚釣用リール

本発明は、調整ツマミの脱落を防止できる魚釣用リールを提供することを課題とする。

特開2019-000031 魚釣用リール

本発明は、スプールに付与する制動力の大きさを好適に調整できる磁気制動装置を備えた魚釣用リールを提供することを課題とする。

特開2020-000013 魚釣用リール及びその制動力調節用の回転操作部材

ハンドル等の他の操作部材の操作性やリール保持性などに影響を及ぼすことなく、所望の制動力常用範囲（所望の最大制動力）をもたらす回動操作範囲（回動位置）である設定制動範囲（位置）が容易に調整し直すことができる制動力調節用の回転操作部材及びそのような回転操作部材を備える魚釣用リールを提供する。

特開2020-188733 魚釣用リール

安定した制動性能が得られると共に、効率良くメンテナンスが行えるスプール制動装置を備えた魚釣用リールを提供する。

特開2020-120587 両軸受型リール

リール本体の小型、軽量化を図ることができ、スピールの制動効率を向上させたスプール制動装置を有する両軸受型リールを提供する。

特開2021-168680 魚釣用リールの構成部材及びその製造方法

メタリック感のある重厚な光輝外観及び耐食性を確保しつつ、高精度な仕上げ寸法を実現して表面処理全体の作業性を向上できる魚釣用リールの構成部材及びその製造方法を提供する。

特開2021-136890 魚釣用リールの構成部材及びその製造方法

駆動部材を回転可能に支持する精密仕上げ部位で十分な耐食性を確保しつつ高精度な仕上げ寸法を実現できると同時にメタリック感のある重厚な光輝外観をも実現でき、表

面処理全体の作業効率を向上させることもできる魚釣用リールの構成部材及びその製造方法を提供する。

これらのサンプル公報には、魚釣用リール、魚釣用電動リール、魚釣用両軸受型リール、制動力調節用の回転操作部材、魚釣用リールの構成部材、製造などの語句が含まれていた。

(7) 出願人別・四桁コード別の公報発行状況

図19は主要出願人がどのような技術に注力しているかを見るためのものであり、上位10社についてそれぞれ四桁コード別に集計し、数値付きバブルチャートとしてまとめたものである。

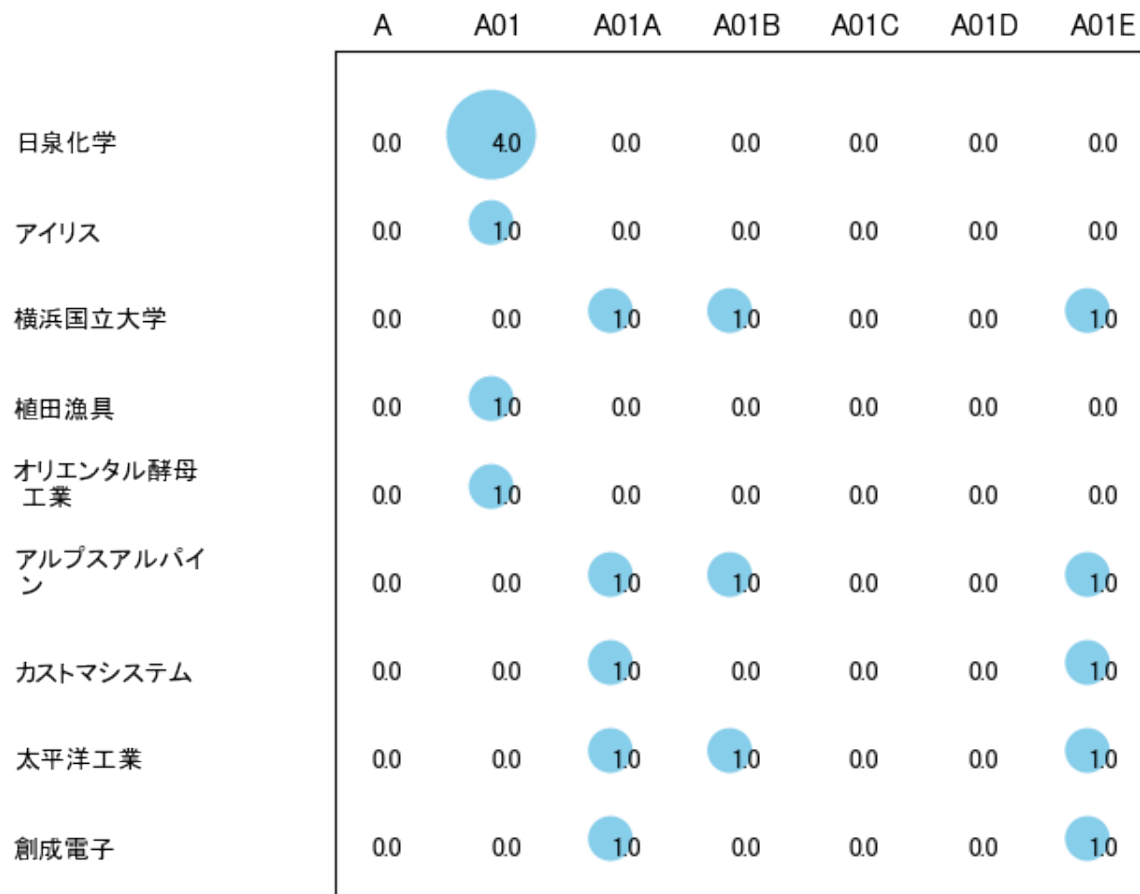


図19

このチャートから各出願人が最も注力しているコードを抽出し、出願人別にまとめると以下のようなになる。

[日泉化学株式会社]

A01:畜産；鳥，魚，昆虫の飼育；漁業；他に分類されない動物の飼育または繁殖；新規な動物

[株式会社アイリス]

A01:畜産；鳥，魚，昆虫の飼育；漁業；他に分類されない動物の飼育または繁殖；新規な動物

[国立大学法人横浜国立大学]

A01A:ピックアップ

[植田漁具株式会社]

A01:畜産；鳥，魚，昆虫の飼育；漁業；他に分類されない動物の飼育または繁殖；新規な動物

[オリエンタル酵母工業株式会社]

A01:畜産；鳥，魚，昆虫の飼育；漁業；他に分類されない動物の飼育または繁殖；新規な動物

[アルプスアルパイン株式会社]

A01A:ピックアップ

[カスタマシステム株式会社]

A01A:ピックアップ

[太平洋工業株式会社]

A01A:ピックアップ

[株式会社創成電子]

A01A:ピックアップ

3-2-2 [B:スポーツ；ゲーム；娯楽]

(1) コード別発行件数の年別推移

分析対象公報のうちコード「B:スポーツ；ゲーム；娯楽」が付与された公報は119件であった。

図20はこのコード「B:スポーツ；ゲーム；娯楽」が付与された公報を発行年別に集計し、縦棒グラフにしたものである。

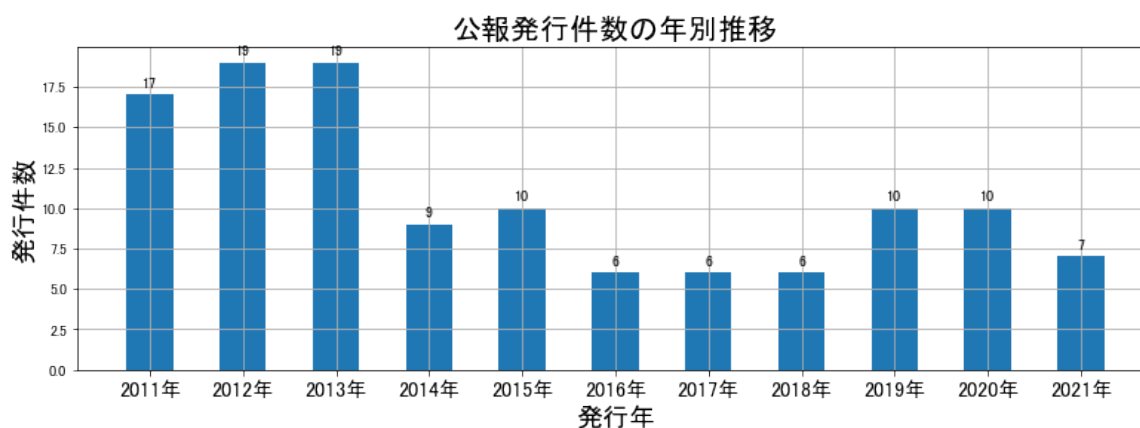


図20

このグラフによれば、コード「B:スポーツ；ゲーム；娯楽」が付与された公報の発行件数は 全期間では減少傾向が顕著である。

開始年は2011年であり、翌年にピークを付け、ボトムの2016年まで増減しながらも減少し、最終年の2021年にかけては増減しながらもボトム近くに帰っている。また、急減している期間があった。

発行件数は少ないが、最終年近傍では減少傾向を示していた。

(2) コード別出願人別の発行件数割合

表6はコード「B:スポーツ；ゲーム；娯楽」が付与された公報を公報発行件数が多い上位11社までとその他の出願人について集計した集計表である。

出願人	発行件数	%
グローブライド株式会社	119	100.0
その他	0	0
合計	119	100

表6

この集計表によれば共同出願人は無かった。

(3) コード別出願人数の年別推移

コード「B:スポーツ；ゲーム；娯楽」が付与された公報の出願人は[「グローブライド株式会社」]のみであった。

(4) コード別出願人別発行件数の年別推移

このコードでは共同出願人は無かった。

(5) コード別の発行件数割合

表7はコード「B:スポーツ；ゲーム；娯楽」が付与された公報のコードを四桁別で集計した集計表である。

コード	コード内容	合計	%
B	スポーツ；ゲーム；娯楽	0	0.0
B01	身体の鍛錬、体操、水泳、登山、またはフェンシングのための装置；球技；訓練用具	55	41.0
B01A	ヘッド	79	59.0
	合計	134	100.0

表7

この集計表によれば、コード「B01A:ヘッド」が最も多く、59.0%を占めている。

図21は上記集計結果を円グラフにしたものである。

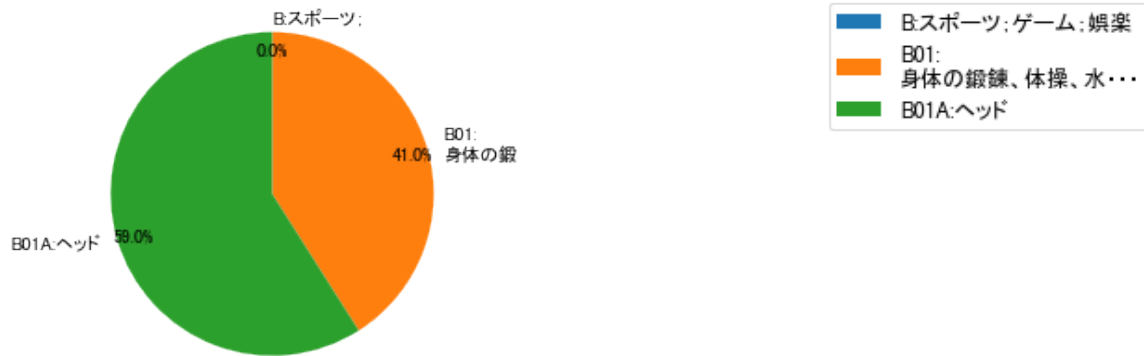


図21

(6) コード別発行件数の年別推移

図22は上記六桁コード別の発行件数を年別に集計し、上位20までを数値付きバブルチャートにしたものである。

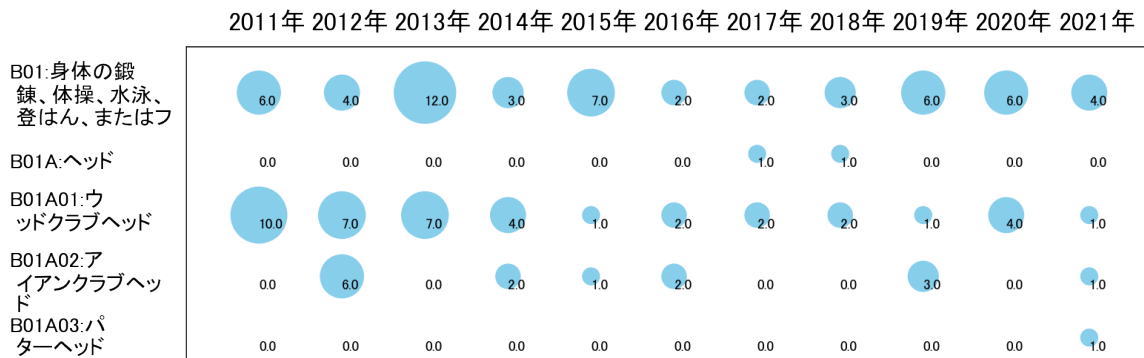


図22

このチャートによれば、最終年が最多となっているコードは次のとおり。

B01A03:パターヘッド

所定条件を満たす重要コードはなかった。

(7) 出願人別・四桁コード別の公報発行状況

出願人別・三桁コード別の公報はなかった。

3-2-3 [C:機械要素]

(1) コード別発行件数の年別推移

分析対象公報のうちコード「C:機械要素」が付与された公報は35件であった。

図23はこのコード「C:機械要素」が付与された公報を発行年別に集計し、縦棒グラフにしたものである。

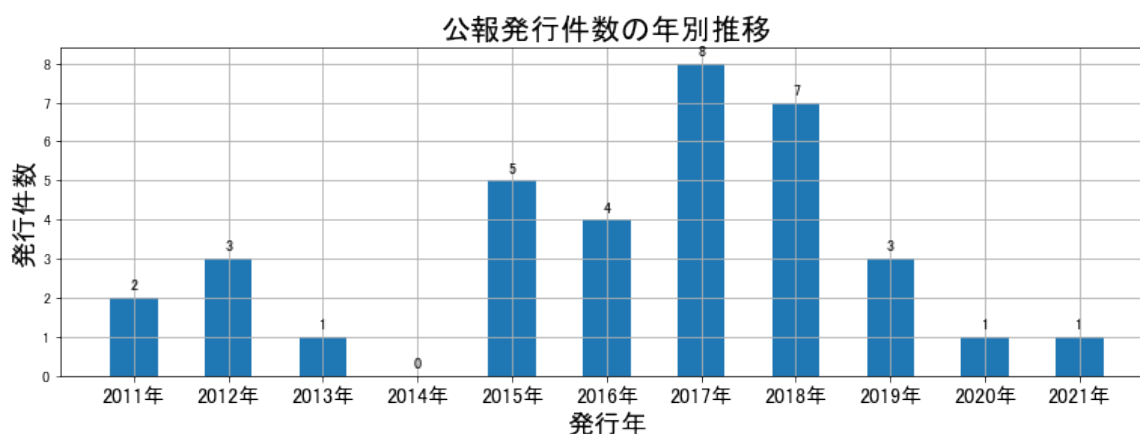


図23

このグラフによれば、コード「C:機械要素」が付与された公報の発行件数は 増減しているものの全期間で見ると横這い傾向を示している。

全期間で発行件数は少ないが、増減している。

発行件数は少ないが、最終年近傍では減少傾向を示していた。

(2) コード別出願人別の発行件数割合

表8はコード「C:機械要素」が付与された公報を公報発行件数が多い上位11社までとその他の出願人について集計した集計表である。

出願人	発行件数	%
グローブライド株式会社	34.0	97.14
日泉化学株式会社	0.5	1.43
株式会社栗本鐵工所	0.5	1.43
その他	0	0
合計	35	100

表8

この集計表によれば、共同出願で最も発行件数が多かった出願人(筆頭共同出願人)は日泉化学株式会社であり、1.43%であった。

以下、栗本鐵工所と続いている。

図24は上記集計結果のうち共同出願人のみを円グラフにしたものである。

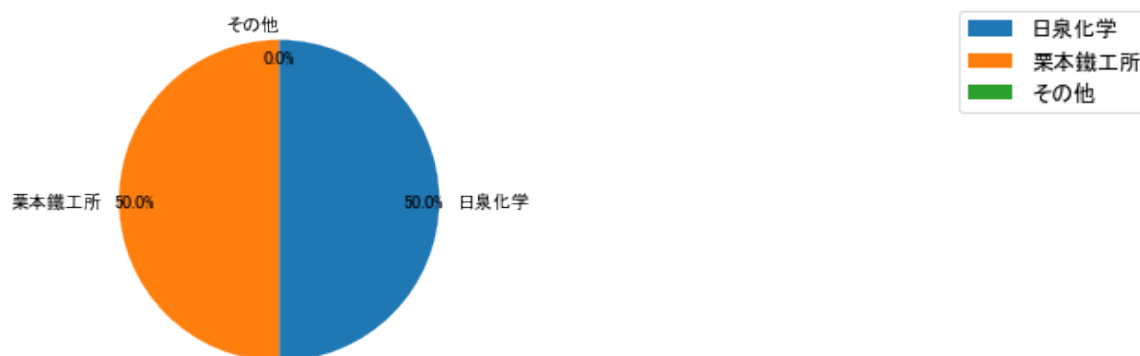


図24

このグラフによれば、筆頭共同出願人だけで50.0%を占めており、特定の出願人に集中しているようである。

(3) コード別出願人数の年別推移

図25はコード「C:機械要素」が付与された公報の出願人数を発行年別に集計し、縦棒グラフにしたものである。

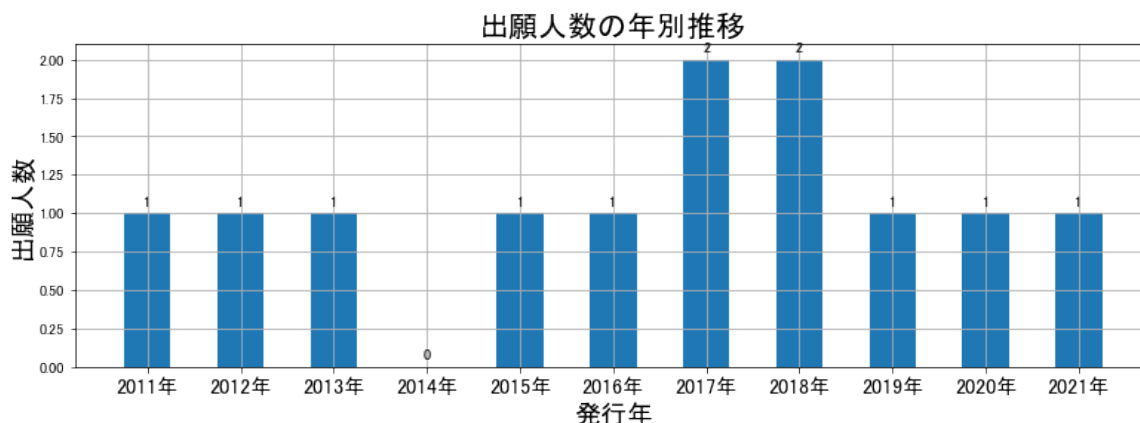


図25

このグラフによれば、コード「C:機械要素」が付与された公報の出願人数は 全期間では横這い傾向を示している。

全期間で出願人数が少ないため、出願人数の変動も少なかった。

出願人数が少なく、かつ最終年近傍の増減も少ないので、最終年近傍も横這い傾向である。

(4) コード別出願人別発行件数の年別推移

図26はコード「C:機械要素」が付与された公報について共同出願人の発行件数が年毎にどのように推移しているかを見るためのものであり、公報発行件数が多い共同出願人の上位10社について公報発行件数を発行年別に集計し、数値付きバブルチャートにしたものである。

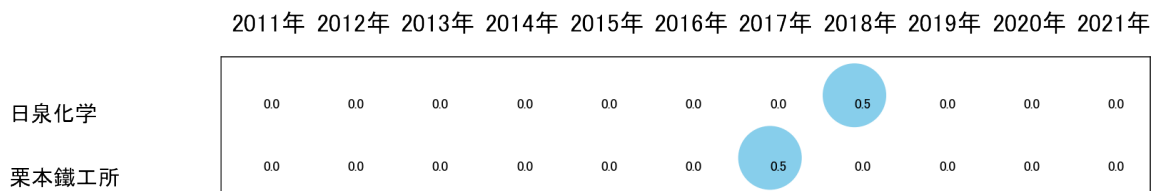


図26

このチャートによれば、最終年が最多となっている出願人はなかった。

所定条件を満たす重要出願人もなかった。

(5) コード別の発行件数割合

表9はコード「C:機械要素」が付与された公報のコードを四桁別で集計した集計表である。

コード	コード内容	合計	%
C	機械要素	13	37.1
C01	軸:たわみ軸:クランク軸機構の要素:伝動装置, 継ぎ手:軸受	5	14.3
C01A	単列の玉	17	48.6
	合計	35	100.0

表9

この集計表によれば、コード「C01A:単列の玉」が最も多く、48.6%を占めている。

図27は上記集計結果を円グラフにしたものである。

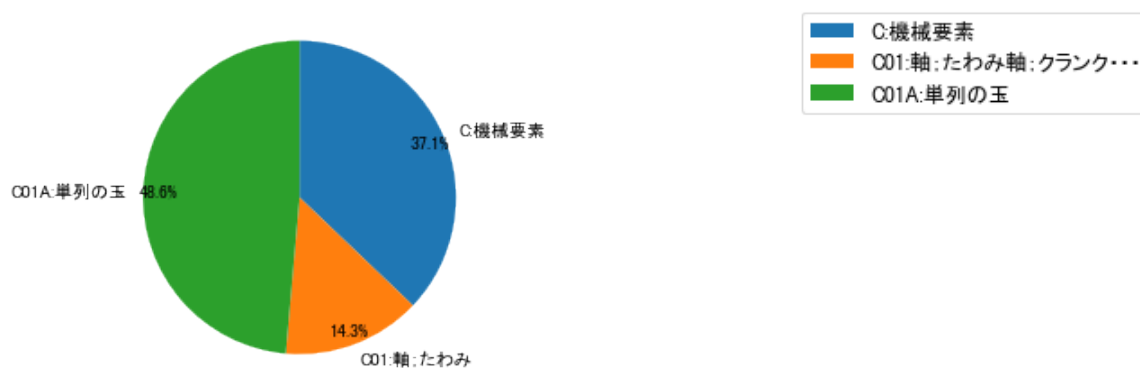


図27

(6) コード別発行件数の年別推移

図28は上記六桁コード別の発行件数を年別に集計し、上位20までを数値付きバブルチャートにしたものである。

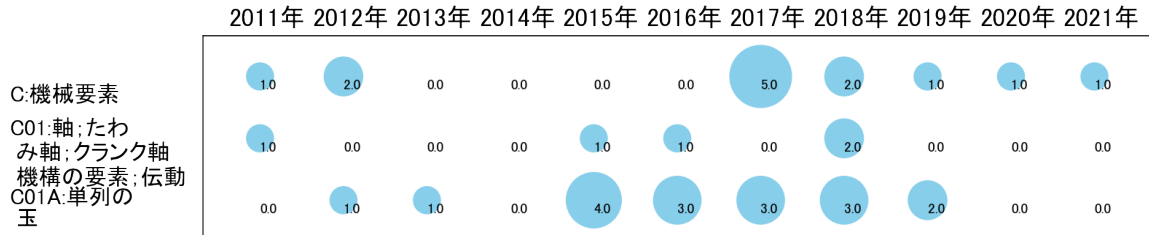


図28

このチャートによれば、最終年が最多となっているコードは次のとおり。

所定条件を満たす重要コードはなかった。

(7) 出願人別・四桁コード別の公報発行状況

図29は主要出願人がどのような技術に注力しているかを見るためのものであり、上位10社についてそれぞれ四桁コード別に集計し、数値付きバブルチャートとしてまとめたものである。

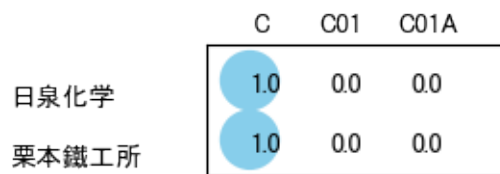


図29

このチャートから各出願人が最も注力しているコードを抽出し、出願人別にまとめると以下ようになる。

[日泉化学株式会社]

C:機械要素

[株式会社栗本鐵工所]

C:機械要素

3-2-4 [Z:その他]

(1) コード別発行件数の年別推移

分析対象公報のうちコード「Z:その他」が付与された公報は80件であった。

図30はこのコード「Z:その他」が付与された公報を発行年別に集計し、縦棒グラフにしたものである。

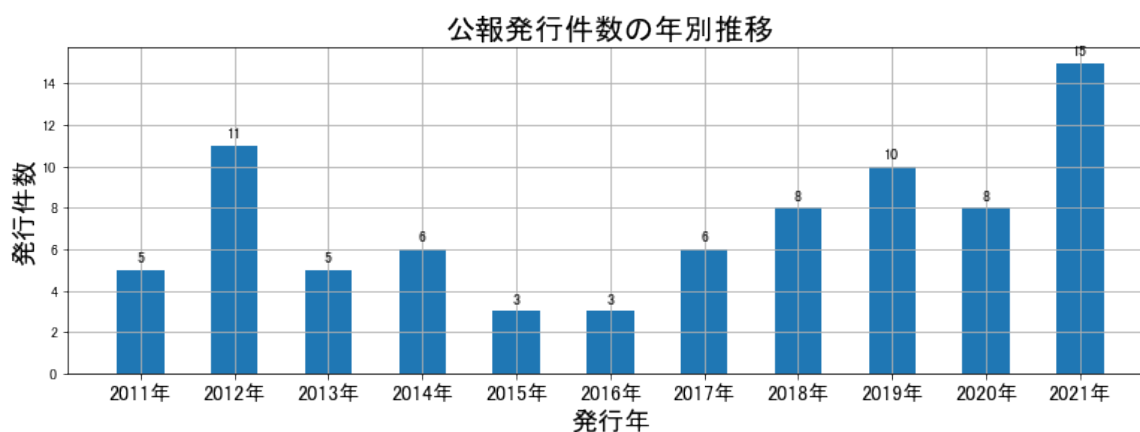


図30

このグラフによれば、コード「Z:その他」が付与された公報の発行件数は 全期間では増減しながらも増加傾向を示している。

開始年は2011年であり、2015年のボトムにかけて増減しながらも減少し、最終年の2021年は急増しピークとなっている。また、急減している期間があった。

発行件数は少ないが、最終年近傍では増減(減少し増加)していた。

(2) コード別出願人別の発行件数割合

表10はコード「Z:その他」が付与された公報を公報発行件数が多い上位11社までとその他の出願人について集計した集計表である。

出願人	発行件数	%
グローブライド株式会社	76.5	95.62
日泉化学株式会社	2.0	2.5
ダイヤホールディングス株式会社	0.5	0.62
株式会社貝印刃物開発センター	0.5	0.62
西武建設株式会社	0.5	0.62
その他	0	0
合計	80	100

表10

この集計表によれば、共同出願で最も発行件数が多かった出願人(筆頭共同出願人)は日泉化学株式会社であり、2.5%であった。

以下、ダイヤホールディングス、貝印刃物開発センター、西武建設と続いている。

図31は上記集計結果のうち共同出願人のみを円グラフにしたものである。

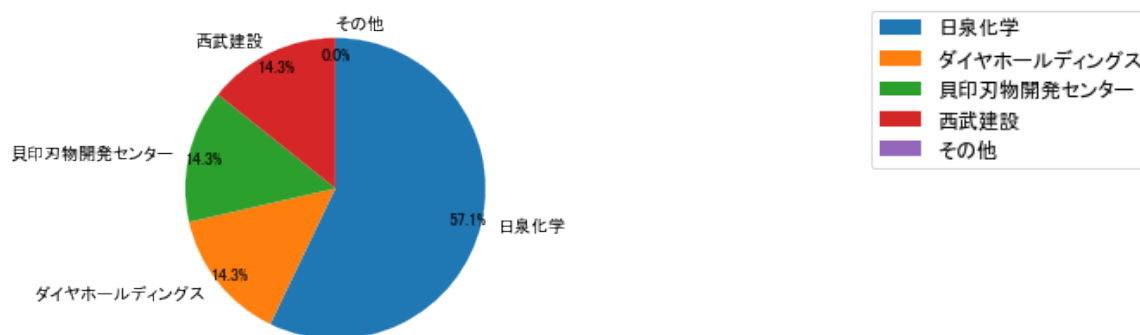


図31

このグラフによれば、筆頭共同出願人だけで57.1%を占めており、特定の出願人に集中しているようである。

(3) コード別出願人数の年別推移

図32はコード「Z:その他」が付与された公報の出願人数を発行年別に集計し、縦棒グラフにしたものである。

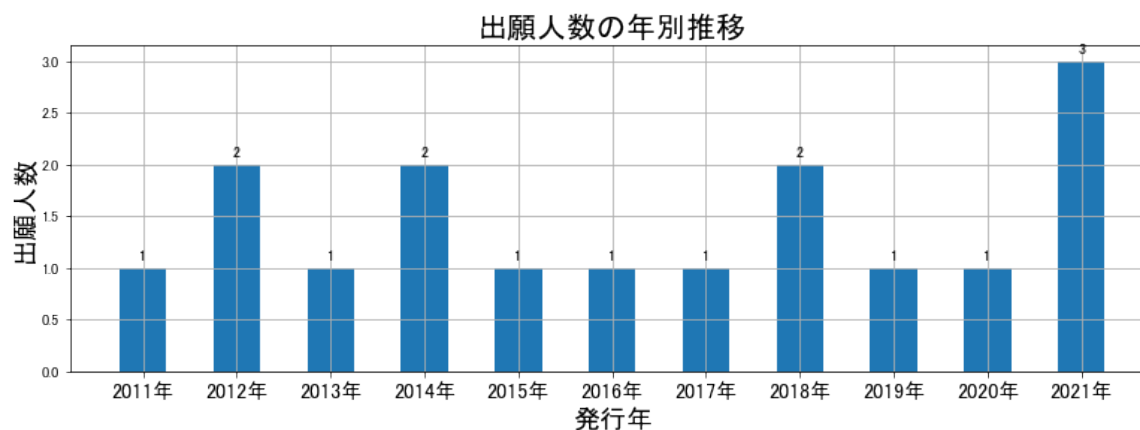


図32

このグラフによれば、コード「Z:その他」が付与された公報の出願人数は 全期間では増減しながらも増加傾向を示している。

全期間で出願人数が少ないため、出願人数の変動も少なかった。

出願人数は少ないが、最終年近傍では減少傾向を示していた。

(4) コード別出願人別発行件数の年別推移

図33はコード「Z:その他」が付与された公報について共同出願人の発行件数が年毎にどのように推移しているかを見るためのものであり、公報発行件数が多い共同出願人の上位10社について公報発行件数を発行年別に集計し、数値付きバブルチャートにしたものである。

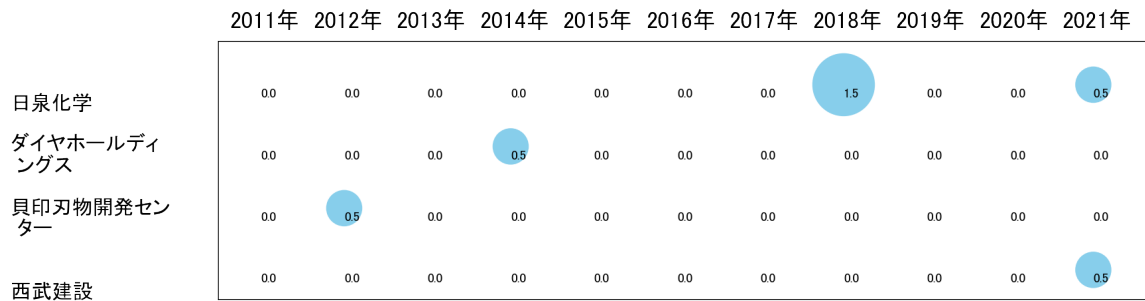


図33

このチャートによれば、以下の出願人は最終年が最多となっている。

西武建設

所定条件を満たす重要出願人はなかった。

(5) コード別の発行件数割合

表11はコード「Z:その他」が付与された公報のコードを三桁別で集計した集計表である。

コード	コード内容	合計	%
Z	その他	0	0.0
Z01	断熱効果+KW=保冷+本体+断熱+部材+操作+バッグ+開口+ロック+側面+解決	8	10.0
Z02	地表からの品物の持ち上げ+KW=	0	0.0
Z03	特殊用途を特徴とするもの+KW=検出+制御+荷物+ウインチ+牽引+部材+飛行+フック+工程+スプール	2	2.5
Z04	二つ以上の回転翼+KW=飛行+回転+複数+ワイヤ+方向+無人+ウインチ+本体+物体+スプール	6	7.5
Z05	水上または水中での活動用+KW=フローティング+ベスト+浮力+身頃+調整+収納+部材+連結+形成+上着	5	6.2
Z99	その他+KW=本体+部材+解決+可能+提供+形成+運搬+開口+保持+制御	59	73.8
	合計	80	100.0

表11

この集計表によれば、コード「Z99:その他+KW=本体+部材+解決+可能+提供+形成+運搬+開口+保持+制御」が最も多く、73.8%を占めている。

図34は上記集計結果を円グラフにしたものである。

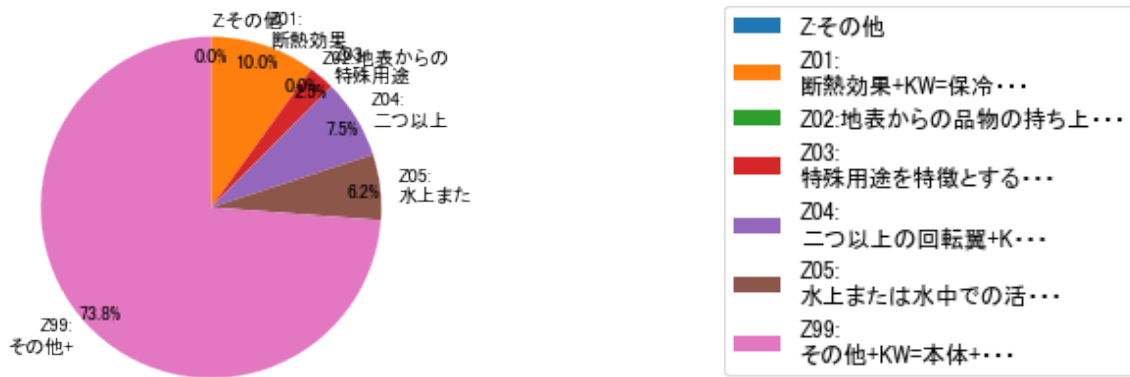


図34

(6) コード別発行件数の年別推移

図35は上記六桁コード別の発行件数を年別に集計し、上位20までを数値付きバブルチャートにしたものである。

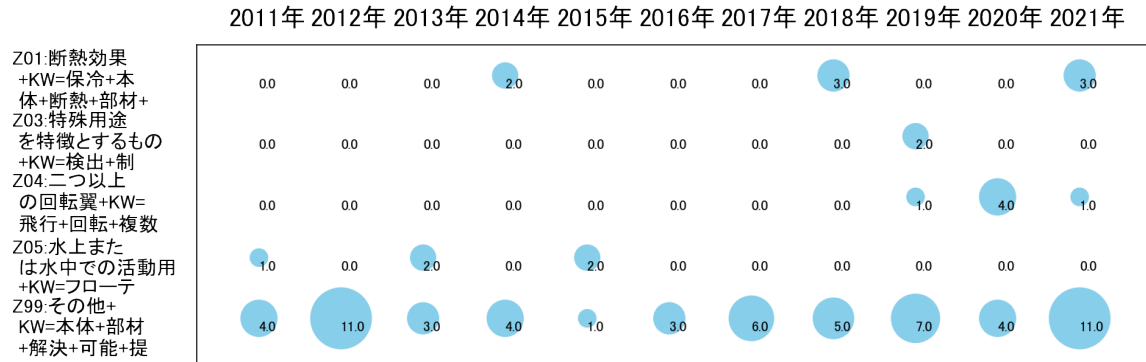


図35

このチャートによれば、最終年が最多となっているコードは次のとおり。

所定条件を満たす重要コードは次のとおり。

Z01:断熱効果+KW=保冷+本体+断熱+部材+操作+バッグ+開口+ロック+側面+解決

Z99:その他+KW=本体+部材+解決+可能+提供+形成+運搬+開口+保持+制御

上記重要コードのサンプル公報によれば、次のような技術が出願されていた。

[Z01:断熱効果+KW=保冷+本体+断熱+部材+操作+バッグ+開口+ロック+側面+解決]

特開2014-024567 保冷容器

外面側にポケットなどの収納部を簡単に備えることができ、しかも冷蔵または温蔵を含む保温能力に優れた保冷容器を提供する。

特開2014-126320 保冷用落とし蓋および保冷箱

内部空間(13)を外気温とは異なる温度に保つための保冷箱に対して、多種類のサイズにも合理的に適合できる保冷用落とし蓋を提供する。

特開2018-039564 保冷箱

開閉操作時に蓋部材を手指で把持し易く、蓋部材の開閉操作性に優れた保冷箱を提供する。

特開2018-039563 保冷箱

本発明は、操作部の変形・破損を抑制することができる保冷箱を提供することを課題とする。

特開2018-039562 保冷箱

操作部の変形・破損を抑制することができる保冷箱を提供する。

特開2021-195148 保冷バッグ

各面の断熱部の成形をより簡易かつ低コストで行うことができるだけでなく、各面の断熱部間からの冷気の流出を確実に低減することで、保冷効果を向上させる。

特開2021-195147 折り畳み可能な保冷バッグ

折り畳みを容易に可能なものとしつつ、保冷効果を向上させることができる保冷バッグを提供する。

特開2021-102464 保冷箱

断熱材充填空間に水が入り難い保冷箱を提供する。

これらのサンプル公報には、保冷容器、保冷用落とし蓋、保冷箱、保冷バッグ、折り畳み可能などの語句が含まれていた。

[Z99:その他+KW=本体+部材+解決+可能+提供+形成+運搬+開口+保持+制御]

特開2011-205999 釣用靴

岩場のような凹凸表面がある釣り場であっても、靴底が滑ることなく、安定して歩行することが可能な釣用靴を提供する。

特開2012-117165 浮力材を有する衣服

浮力が低下することなく、着衣した際の圧迫感やつっぱり感を抑制した浮力材を有す

る衣服を提供する。

特開2015-124463 上着

伸縮性に乏しい生地で形成されたアウトドア用の上着におけるフードの着脱動作がしやすく、フード着用時における密着感を高めた上着を提供する。

特開2017-050651 平面スピーカ

複数の振動発生装置に伴う振動板の振動を簡単に制御して所望の音質および音量を確保できるとともに、高温多湿の過酷な環境を含む様々な環境下でほぼ制限無く使用できる、耐久性の優れたコンパクトで持ち運びし易い組立性の良好な平面スピーカを提供する。

特開2017-082372 衣類用フード及びこれを備える衣類

簡易な操作によって、フードの開口上側、開口下側、及び側面の各部分を段階的に収縮させ、使用者が所望する部分を段階的にフィットさせることができる衣類用フードを提供する。

特開2018-177500 電動巻き上げ機及びその制御装置並びに制御方法

回転体からの牽引部材の繰り出し時のバックラッシュ現象を防止できる電動巻き上げ機及びその制御装置並びに制御方法を提供する。

特開2018-122047 折畳み傘

金属製のはじきと接触したときの中棒の破損を抑制する。

特開2019-052009 バッテリ駆動式電動巻き上げ機

牽引部材による対象物の昇降途中で対象物の回収が困難となる状況の発生を最小限に抑えることができるバッテリ駆動式電動巻き上げ機を提供する。

特開2019-131949 衣類用フード及びこれを備える衣類

簡易な操作によって、フードの開口上側、開口下側、及び側面の各部分を段階的に収縮させ、使用者が所望する部分を段階的にフィットさせることができる衣類用フードを提供する。

特開2020-200144 係止装置

係止装置の小型化を可能ならしめるだけでなく、当該係止装置の運搬物への係止が操

作者の技量に極力依存しなくても済むようにして運搬物の係止容易さを向上させることにある。

これらのサンプル公報には、釣用靴、浮力材、衣服、上着、平面スピーカ、衣類用フード、電動巻き上げ機、制御、折畳み傘、バッテリー駆動式電動巻き上げ機、係止などの語句が含まれていた。

(7) 出願人別・三桁コード別の公報発行状況

図36は主要出願人がどのような技術に注力しているかを見るためのものであり、上位10社についてそれぞれ三桁コード別に集計し、数値付きバブルチャートとしてまとめたものである。

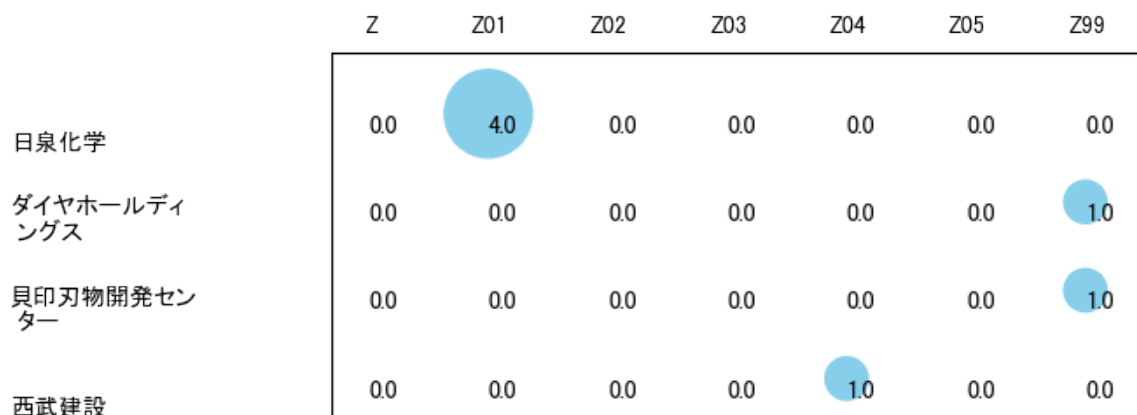


図36

このチャートから各出願人が最も注力しているコードを抽出し、出願人別にまとめると以下ようになる。

[日泉化学株式会社]

Z01:断熱効果+KW=保冷+本体+断熱+部材+操作+バッグ+開口+ロック+側面+解決

[ダイヤホールディングス株式会社]

Z99:その他+KW=本体+部材+解決+可能+提供+形成+運搬+開口+保持+制御

[株式会社貝印刃物開発センター]

Z99:その他+KW=本体+部材+解決+可能+提供+形成+運搬+開口+保持+制御

[西武建設株式会社]

Z04:二つ以上の回転翼+KW=飛行+回転+複数+ワイヤ+方向+無人+ウインチ+本体+
物体+スプール

第四章 まとめ

この調査では、機械学習で使用されているpythonによりコード化し、コードを付与した公報データをグラフ化した。

コード化はIPCを中心としており、その1桁コードは次のとおり。

- A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業
- B:スポーツ；ゲーム；娯楽
- C:機械要素
- Z:その他

今回の調査テーマ「グローブライド株式会社」に関する公報件数は 全期間では増減しながらも減少傾向を示している。

開始年の2011年がピークであり、2016年のボトムにかけて減少し続け、最終年の2021年にかけては増減しながらも増加している。また、横這いが続く期間が多かった。

最終年近傍は横這い傾向である。

出願人別に集計した結果によれば、共同出願人の第1位は日泉化学株式会社であり、0.41%であった。

以下、アイリス、ダイヤホールディングス、横浜国立大学、栗本鐵工所、植田漁具、貝印刃物開発センター、西武建設、オリエンタル酵母工業、アルプスアルパインと続いている。

この上位1社だけで45.8%を占めており、特定の共同出願人に集中している。

特に、重要と判定された出願人は無かった。

IPC別に集計した結果によれば、コアメインGは次のとおり。

A01K87/00:釣竿(308件)

A01K89/00:漁撈用のリール(449件)

A01K97/00:釣り用付属具 (96件)

A63B53/00:ゴルフクラブ(108件)

1桁コード別に集計した結果によれば、コード「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」が最も多く、79.6%を占めている。

以下、B:スポーツ；ゲーム；娯楽、Z:その他、C:機械要素と続いている。

年別推移で見ると出願人名義の公報発行件数は、全体的には増減しながらも減少傾向を示している。最終年は横這いとなっている。この中で最終年の件数が第1位の出願人は「A:農業；林業；畜産；狩猟；捕獲；漁業」であるが、最終年は減少している。また、次のコードは最終年に増加傾向を示している。

Z:その他

最新発行のサンプル公報を見ると、魚釣用スピニングリール、リールシート装着構造、成型、魚釣用リールのハンドル、魚釣用電動リール、釣竿用リールシート、繊維強化プリプレグ、製造、保冷箱、撒餌の分布、出力可能、撒餌収容、管状体などの語句が含まれていた。

なお、この分析は全てプログラム処理による簡易的なものであるので、さらに精度の高い分析が必要であれば、特許調査会社の専門家による検索式作成と全件目視チェックによる分析を依頼することが望ましい(ただし数百万円と数ヶ月の期間が必要となるかもしれません)。